



私はコロンビアのカルタヘナに住んでいる。コロンビアは多民族国家だ。その中でもこの街は、スペインに占領されていた時代にアフリカからの奴隷船が着く港町だったこともあり、アフリカとコロンビアの文化が融合している。また、旧市街や城壁、



コロンビア  
藤井愛華さん(29)  
広島県府中町出身

## 被爆の歴史 対話で伝え

「年活動」という職種で派遣された。ひな型がないため、どう活動するかを探りながら考える毎日。そうした状況下でも、赴任直後から続けているのが「広島についてのワークショップ」である。

以前から「Hiroshima」という言葉は世界中で通じる」と聞いていたが想像以上だった。「私は広島出身だ」と伝えるとほぼ全員が驚き、興味を持ってくれる。ワーク

要塞などが点在し、それらの世界遺産と共存する街でもある。海に臨み、世界遺産が身近な街なので、いろいろな場面で広島と共通点が多いと日々感じている。私は国際協力機構（JICA）海外協力隊の「青少年



配属先の教育局で開いた広島に関するミニ展示会。復興の過程、現在の広島、平和教育などについて説明をした

ショップでは「あの日何があったのか」「原爆の被害を学んできたからなのだとその後の復興」感謝している。

「復興」現在の広島は2016年まで半世紀以上に及ぶ内戦を経験し、苦しんできた国で、その歴史を学ぼうと証言集も作られている。ただ「原爆」と「広島」という言葉は有名だが核の被害や廃虚からの復興の物語はあまり知られていないように思う。私たちが一人一人が世界中の歴史や実情に精通することは難しい。一方、対話形式であれば内容をよりスムーズに理解することができるとは思う。だからこそ、おのおのが自分の街の歴史や現状について理解を深め、互いに伝え合うことがとても大事なのだと思う。

受講者からよく聞くのが「広島復興、人々の強さに感銘を受けた」という感想である。これまであまり意識していなかったが、先人の努力で今の広島があり、私がこのように話ができるのも幼少から平和学習